



# 新型コロナウイルス禍における アルコール問題

5

## COVID-19による飲酒習慣の変化についてのアンケート調査

Questionnaire survey on changes in drinking habits due to COVID-19



医療法人見松会  
あきやま病院依存症病棟 医長

福田 貴博  
Takahiro Fukuda

## Summary

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行の影響が、世の中のあらゆる生活に影響を与えている。今回、COVID-19流行が一般人の飲酒習慣にどのような影響を与えるのかを知るために、職域を対象に、飲酒習慣（飲酒頻度や1回飲酒量など）に関するアンケートを無記名自記式で行い、383人からの回答を得た。COVID-19に対する緊急事態宣言前に、もともと週4日以上飲酒する者は全体の約4割であり、1回飲酒量が4ドリンク以上6ドリンク未満の者は約2割であった。緊急事態宣言の前後で、飲酒頻度や飲酒量の変化はみられなかった。緊急事態宣言前は飲酒習慣がなかったが、緊急事態宣言後に飲酒するようになった者が6人いた。この調査の結果からは、COVID-19が一般人の飲酒習慣には大きな影響を与えていない可能性が考えられた。



Key Words

COVID-19, 職域, 飲酒行動

### はじめに

COVID-19の流行により、アルコール依存症を取り巻く環境も大きな影響を受けている。自助グループは開催場所が閉鎖になり、リアルでの開催はできないという声があちこちで聞かれる。一方、自助グループのオンライン開催により、普段は会えない遠方のメンバーとの再会も可能となるなどのメリットもある。

日常生活に目を向けると、政府による緊急事態宣言も発令され、飲食店の営業時間短縮や休業により店舗向けのビールの販売量は低下したが、一方で家庭用ビールなどの出荷量は増えている。このような影響が、アルコール依存症ではない飲酒習慣をもつ者にどのような影響を与えたのかを知るために、今回飲酒習慣の

変化に関するアンケート調査を行った。

### 飲酒習慣の変化に関するアンケート調査

#### 1. 目的

本研究では、職域において、COVID-19の流行により自粛や感染症への不安などで飲酒行動に変化があるかどうかの実態を明らかにする。

#### 2. 方法

無記名自記式アンケート調査を行った。属性に関する質問として年代、性別を尋ねた。以下に質問事項を示す。